

令和３年度全日本選抜レスリング選手権大会
体育学校選手が５階級を制覇

令和３年５月 27 日から 30 日の間、東京都世田谷区駒沢オリンピック記念公園体育館において令和３年度全日本選抜レスリング選手権大会が行われた。本大会は昨年 12 月に行われた全日本選手権大会と合わせて 2021 年世界選手権代表選考も兼ねており、２つの大会の優勝者が異なる場合、両優勝者による代表決定プレーオフにて代表を決める。

自衛隊体育学校レスリング班からは高谷大地３等陸尉以下 24 名が出場し５階級で優勝、６名が世界選手権代表を勝ち取った。



強い気持ちで 悲願の初優勝

大会２日目、グレコローマンスタイル 77kg 級に第１シードで出場した櫻庭功大２等陸曹は初戦（準決勝）、２ポイントを先制されるも開始５分１秒に 11–2 のテクニカルフォール（規定の得点差による勝利）で逆転勝利し、決勝に駒を進めた。決勝の相手は日下尚選手（日本体育大学）。開始１分 20 秒、日下選手に指導（攻撃に消極的）が入り櫻庭２曹は１ポイントを先制、続けて２ポイントの技を決め 3–0 とした。後半に同じく指導により１ポイントを奪われるも相手からの猛攻に一歩も引かず守りきり、自身初の優勝を飾った。

試合後、櫻庭２曹は「強豪選手は不在の大会だったが優勝できてホッとしている。今後は世界選手権でいい結果が出せるよう、さらに攻防を強化していきたい。」と抱負を語った。

３大会連続４度目 貫禄の優勝

フリースタイル 125kg 級に出場した山本泰輝２等陸曹は、５月６日にブルガリアで行われた東京五輪世界最終予選で負傷した首を抱えての出場となった。しかし第１シードで迎えた初戦（準決勝）では、開始わずか１分 50 秒でポイント 10-0 と圧倒的な強さを見せつけテクニカルフォールで勝利、決勝に繋げた。迎えた決勝の相手は福井裕士選手（天理大学大学院）、お互いに一歩も引かない攻防戦が続いた。２ポイントを先取した山本２曹が相手に逆転を許さず、ポイント 2–1 と接戦を競り勝った。

山本２曹は、試合を振り返り「自分のやりたいレスリングはできなかったが勝ててホッとしている。怪我をしているなかで最低限のノルマはクリアできたと思う。世界選手権に向けて怪我を治し、技も力も向上させたい。」と自身３度目の出場となる世界選手権への意欲を語った。

